

会社の基本である「受注企業」として、生産性と品質向上に向け大きく発展しています。

②生産管理システム

受発注管理システムで決定した工程管理を、各ロット単位（品目・穂木台木の組み合わせ・商品別に本数等の生産ロット）毎にICタグを利用して管理するシステムです。ロット単位でICタグに生産情報を書込み、苗とともに生産現場で直ぐに苗の現況が表示閲覧できることにより、お客様に合わせた生産管理が出来る画期的なシステムです。

全ての生産ロットがどのような生産工程にあり、どのような状態にあるかが一目で分かり、出荷まで管理することが可能です。苗の状態を常に把握しているため安心して納品を迎え、ユーザーが「定植：苗を植えること」等の準備作業が的確に出来ることとなります。

接木苗生産販売企業として、よりユーザーに近い企業としての瞬時的確な情報提供により、安心と信頼を提供し、安定した受注売上拡大を果たしています。

③生産管理システム → 「ほうさく・ネット販売」  
(インターネットによる即納苗販売)

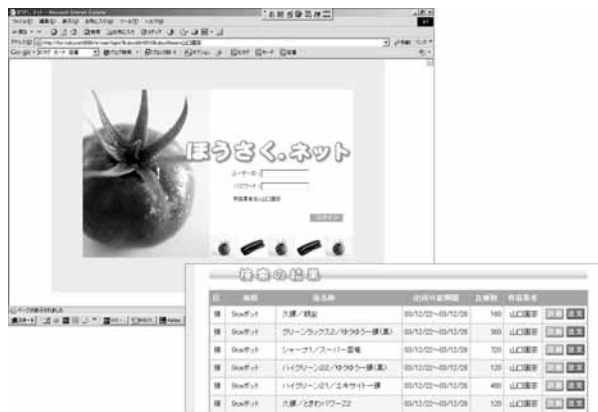
生産管理システムでのロット毎の管理にあわせ、生産現場での目視による苗のきめ細かな情報管理は欠かせません。

生産工程どおりに苗が順調に育苗出来ているか、全てのロットは随時状態をチェックされ、その内容は「PDA端末」で入力され、「現状把握・本数等の在庫」を管理されています。これが、PDAによる在庫管理システムです。

こうした在庫管理が瞬時にできることにより、ユーザーからの照会だけでなく、インターネットを使用した即納苗受発注システム「ほうさく・ネット」による苗の販売も可能になりました。

予測不可能な理由で苗が緊急に必要な場合だけでなく、需要にあわせた即納苗の販売も可能となり、良い苗を「いつでも・どこでも・いくらでも」を実践

することで、売上拡大を果たすことが出来ています。



ほうさく・ネット

③農薬履歴システム

消費者の「安心・安全」の高まりの中で、本年6月より苗販売についても、農薬使用履歴表示が義務化されました。



農薬履歴システム

当社は育苗のトップ企業として業界で初めて、自社開発の農薬履歴システムを導入しました。

生産管理システムと連動し、各生産工程で散布される農薬を生産履歴として保持し、納品時に「なにを・どのくらい」使用した苗なのかを、農薬使用履歴として正確にお客様にお届けしています。

農薬履歴システムの導入により苗とともに「安心」をお届けしています。